

# 障害者就労施設の工賃向上に資する生産設備の導入モデル事業取組事例（群馬県）

## 実施事業所

木工工芸館 工房ふじ(就労継続支援B型)  
／社会福祉法人 三和会

## 導入した設備

【EPILOG製】レーザー彫刻機 FusionMaker36 一式

## 事業の応募のきっかけ(事業所が抱える課題)

以前からレーザー彫刻機を使用した木工品加工のご注文を数多くご依頼をいただいている。自前でもレーザー彫刻機の購入を希望していたが、高額なため購入することができず、外部委託業者にて対応を行ってきた。現在外部委託業者へ出す際、①まず数社から見積もりを取りお客様に確認をいただく。②お客様から了承をいただいた後、お預かりしたデザインと加工する部材を外部委託業者に送付する。③その後、外注先でサンプルを製作してもらい、当方に返送いただきお客様に確認して頂く。④そしてお客様の確認・了承をいただけたら当方から外部委託業者に連絡をし加工を開始して頂く。⑤完成後、当方に製品を返送いただき、ようやくお客様にお渡しできる状況である。このやり取りの多さと運送費の負担が大きく、収益に大きく影響を及ぼしている。また外部委託業者の繁忙状況により、製作に時間を要してしまい、お客様の納期に間に合わず、受注のキャンセルや注文をお断りせざるを得ないことが多い。また外部委託業者の加工代金が高いこともお客様への負担となっており、注文のキャンセルに繋がっている。またレーザー加工のデザインがイメージとは異なるものになることがあるため、その修正のやり取りの為にさらに時間を要してしまうこともある。そのため当方でレーザー彫刻機を導入できることにより、迅速にお客様に確認・対応することが出来るようになり、作業効率、そして収益の大幅向上、利用者の工賃向上に繋がる。



## 事業内容

社会福祉法人三和会 木工工芸館工房ふじは、施設名称が「工房ふじ」となっているように、木工を主体に行うために設立された施設である。その取り組みはおもちゃから家具まで、さまざまな木工製品の製作を行っている。今日では高い製作技術とクオリティーであるとの嬉しいご評価をいただき、官公庁や自治体からも多くのご注文をいただいている。



## 生産設備導入後の効果

新規のお客さまからスタンドタイプの看板の製作、また箱の板材に企業名のレーザー彫刻を施す加工依頼が入り、4月中旬に製作、納品を行う予定である。また今まで外部委託を行っていた製品へのレーザー彫刻も当方で製作できるようになり、今後収益の向上、工賃への転嫁が期待される。また利用者さんからは「自分たちの製品にレーザー彫刻できて嬉しい」「自分のデザインを彫刻してみたい」「新しい製品を生産してみたい」「綺麗に彫刻できて凄い」と多くの喜びの声や仕事へのモチベーション向上の声が聞かれている。

# 障害者就労施設の工賃向上に資する生産設備の導入モデル事業取組事例（埼玉県）

## 実施事業所

夢知無恥(就労継続支援B型)／NPO法人サイシップ

## 導入した設備

ビニールハウス・フリーズドライ装置・真空包装機

## 事業の応募のきっかけ(事業所が抱える課題)

工賃向上のために様々な仕事をしてきたが、コロナの影響や取引先の都合で急ぎで仕事をこなさなければならないこと、作業工賃が低いことが課題であった。

そこで、当法人の地域は農業が盛んであり、農業従事者の協力も頂けることから、農産物による売上を伸ばすことにより工賃向上へ繋げようと考えた。

ビニールハウス内で作業できることにより、天候に左右されることなく働くことができ、また、農作業であれば、時間に追われて作業することで利用者が体調を崩す心配もなくなる。

そのほか、農場で作業ができない方などは農作物を加工品にして梱包作業してもらうことも可能であり、6次産業化にもつながる。

## 事業内容

- ①ビニールハウスでのバナナ栽培  
ビニールハウス内で、バナナを栽培するとともに、農業体験サービスにより集客を行い、バナナやバナナジュース、他の畑で栽培している作物等を販売し、売上拡大を図る。
- ②フリーズドライ装置・真空包装機の活用  
バナナや現在生産している作物等をフリーズドライ化し、店頭販売等を行う。  
また、フリーズドライ商品等を真空包装し、災害用非常食を生産する。非常食は地域に販売するほかに、県や行田市の許認可を受けて、公共避難所の非常食としても販売予定。  
【現在の生産している食品・作物等】  
うどん、ご飯、ソーメン、みかん、ブドウ、ナス、きゅうり、大根、柚子、フキみそ、ブロッコリー、ネギ、さやえんどう、じゃがいも、おくら、玉ねぎ等



## 生産設備導入後の効果

バナナは、果実の収穫まで1～2年程度かかるが、バナナの樹1本あたり150本から200本の果実が収穫でき、販売価格は1本あたり700円を予定している。  
フリーズドライ加工された商品は、作物等をそのまま販売するよりも約3倍程度の付加価値がつく。許認可が取れ次第、販売開始する予定である。



# 障害者就労施設の工賃向上に資する生産設備の導入モデル事業取組事例（石川県）

## 実施事業所

ワークセンター星が岡(就労継続支援A型)  
／社会福祉法人佛子園

## 導入した設備

しいたけ生産設備

## 事業の応募のきっかけ(事業所が抱える課題)

事業開始は水耕栽培の簡易農業ハウスを転用している為、ハード面での栽培環境に課題が多く(夏季の冷房設備の未整備、断熱対策)、夏季の栽培・出荷体制が脆弱となっている。そのため、通年を通して安定した栽培・出荷作業が安定せず売上が減収と共に、利用者が関わる仕事量の低下を招いている。生産設備とはなっていない。近年の気候変動(温暖化)が進む中ではより課題が顕著化してきている為、栽培設備の再整備(改善)が課題となっている。



## 事業内容

ワークセンター星が岡では2021年より、地域の事業承継に加え、工賃向上に向けて、より付加価値の高い生産活動を模索し、地域ニーズも踏まえ、しいたけ栽培をスタート。

このモデル事業を活用し、通年での安定栽培を推進し、更なる利用者の工賃向上を図ると共に、石川県産しいたけの供給量の確保に貢献していきたい。



## 生産設備導入後の効果

市場ニーズに対応する為、栽培菌床を3000個増加。  
既存ハウス栽培12000菌床で年間 1500万円の売上 (1250円/菌床)。  
新設ハウス栽培 3000菌床で年間 420万円の売上 (1400円/菌床)。  
栽培環境の増設・強化により、1菌床当たりの売上150円アップを目指して生産の効率化・強化。及び通年栽培・安定生産・供給体制により年間総売上2000万円を実現し、通年型で安定した仕事量の確保により、利用者の工賃向上を見込む。石川県産しいたけの栽培に積極的に取り組むことで、障害のある利用者が事業継承の役割を担い、且つより高い工賃の獲得をしていく。

# 障害者就労施設の工賃向上に資する生産設備の導入モデル事業取組事例（石川県）

## 実施事業所

奥能登WORKSスタジオ(就労継続支援B型)  
／株式会社 奥能登元気プロジェクト

## 導入した設備

蒸留機、冷蔵庫、多目的電気乾燥機 等

## 事業の応募のきっかけ(事業所が抱える課題)

ゲストハウス『ココハオダヤ』オープンと地域の交流サロンとして運営してきたカフェ『ココハサトマチ』を連動させ、復興支援事業者、工事関係者、二次避難から戻った地元住民への奥能登の特産品を活用した食事提供、お土産品の製造販売を拡大していくことが導入のきっかけとなった。7月より被災地の視察ツアーを企画し集客を行っており、奥能登の現状を発信しながら販路拡大に繋げ利用者の工賃向上を目指す。また、設備の増設によって稼働を向上させていくために利用者、職員の増員が急務である。



## 事業内容

自社で運営するカフェ『ココハサトマチ』、ゲストハウス『ココハオダヤ』と連動して、南志見市場、民泊事業を開始予定。震災、豪雨以降、被災地の現状を知ってもらうための情報を発信し、ツアーを企画し新たな観光名所を創出することで、地元食材を使った食事提供、お土産品製造の事業を更に拡大し利用者の工賃向上と地域の雇用を生み出す。



## 生産設備導入後の効果

生産設備を導入することで利用者の作業量、作業効率がアップ。復興支援事業者、工事関係者、二次避難より戻ってきた地域住民からの、お惣菜、お弁当の需要が高まることで食品加工の売上増加につながり、利用者の工賃向上を実現する。また、今後ゲストハウスの宿泊客を見込んだ食事提供、カフェで製造するお惣菜、お弁当、メニュー提供、お土産品としての加工食品、フォレストで製造する能登ヒバ商品を奥能登の特産品として発信することで全ての事業を連動させ奥能登活性化につなげていく。さらには南志見地区の震災によって退職、休職を余儀なくされている地域住民に対しても、弊社の取り組みによって雇用の創出が可能になると考える。

# 障害者就労施設の工賃向上に資する生産設備の導入モデル事業取組事例（福井県）

## 実施事業所

就労継続支援 前進主義(就労継続支援A型)  
／株式会社スタンドトゥギャザー

## 導入した設備

- ① フードプリンター／② カuttingプロッタ／③ バルダン刺繍機  
④ 昇華プリンター／⑤ 自動販売機

## 事業の応募のきっかけ(事業所が抱える課題)

当事業所は、デザイン系の仕事に積極的に取り組んでおり、企業からのWEB作成の受注や自社商品の開発に取り組んできた。

一方で、高い技術や細かい加工を要する商品を作るための設備が十分ではなく、企業からの要望に応えられず受注機会を逃すことや、利用者のアイデアを商品に落とし込めないことが課題となっていた。

→そのため、事業所にある既存の設備ではできなかった加工や仕上げのできる設備を導入し、作ることでできる商品の幅を広げた。  
また、自動販売機を導入し、人手をかけず商品を見せながら売ることのできる体制を作ることで、事業所の魅力発信と工賃向上を同時に目指した。



②カuttingプロッタ



③バルダン刺繍機



⑤自動販売機

## 事業内容

- ①フードプリンター  
・利用者の描いたイラストをマシュマロやクッキーに印刷しオリジナル商品を作成
- ②カuttingプロッタ  
・紙を細かく裁断できる機能を活かし、オリジナルステッカー等の作成を受注
- ③バルダン刺繍機  
・企業ロゴ等の刺繍業務を受注  
今後は刺繍によるアート作品を販売
- ④昇華プリンター  
・利用者の描いたイラストをマグカップやカバン等に印刷しオリジナル商品を作成
- ⑤自動販売機  
・事業所オリジナル商品の自動販売機を地域の公園に設置し販路を拡大



① フードプリンター



④ 昇華プリンター



①で作ったクッキー



④で作成したカバン

## 生産設備導入後の効果

(工賃向上)

- |       |                 |                 |
|-------|-----------------|-----------------|
| ・A型賃金 | 令和6年度: 121,082円 | 令和5年度: 101,312円 |
| ・B型工賃 | 令和6年度: 28,545円  | 令和5年度: 27,948円  |

(就労機会の創出)

- ・各設備の担当として新たに10名の就労機会を創出
- ・利用者の従事可能な製造業務が増えたことにより、付随する管理・運營業務に従事する利用者も増加

(販路拡大・事業所の魅力発信)

- ・作成した商品を活用し、地域のものづくりフェスタ等10以上のイベントに出店
- ・テレビ、ラジオでの今回の取り組みの発信を通じて、事業所の認知度向上

# 障害者就労施設の工賃向上に資する生産設備の導入モデル事業取組事例（山梨県）

## 実施事業所

KEIPE笛吹オフィス(就労継続支援A型)／KEIPE株式会社

## 導入した設備

食品乾燥機一式、アイスクリーム製造機器一式

## 事業の応募のきっかけ(事業所が抱える課題)

- ・近年の物価高騰、企業を取り巻く経営環境の悪化による値下げ交渉・事業打ち切り交渉等により、事業収益による利用者賃金の確保は達成しているものの、満足のいく賃金向上を行えていない状況にある。
- ・事業所内の高齢化も進む中、定年後も安心して生活を送ることが可能な経営体制や環境づくりに苦慮している。
- ・こうした中、事業所で展開している事業(飲食事業、ECサイト、ふるさと納税等)において販路が確保できているという強みを活かし、食品加工機器等を新たに導入することで、これまでのような委託に頼らない食品加工事業を展開し、収益性を高めたい。

## 事業内容

KEIPE株式会社では、「誰もがそこにいい社会」の実現を目指し、障がいのある方が、より自分らしく働ける環境づくりに取り組んでいる。

これまで、製造業・物流業の受託事業、飲食事業、WEB事業、施設内作業等を行っており、このモデル事業を活用して、新たに①食品乾燥機、②アイスクリーム製造機を導入し、食品加工事業(ドライフルーツ、干し芋、ジェラート等)を展開する。

製造から販売までの一体的な運営体制を整備することで、障害特性に応じた雇用機会を創出するとともに、収益性を高めることで、賃金の向上等を図っていく。



## 生産設備導入後の効果

○食品乾燥機の導入により、新しく干し芋の生産を開始し、1日あたり100kgの製造が可能となった。安定した品質のものが、効率的に生産できるため、迅速な出荷対応ができています。

○これまで委託製造で月30個程度の製造・販売が可能であったが、アイスクリーム製造機の導入により、ジェラートを1日に400食分の製造・販売が可能となった。店舗販売も実施し、地域内外の顧客から好評を得ている。

○店舗やECサイトを活用した複数の販路展開が可能となり、収益性の高い販路を確保。山梨県最低賃金の約1～5%の賃金向上を見込んでいる。

○生産から販売までの工程を事業所で対応できるため、障害特性に応じた作業の割り振りが可能となり、新たな雇用機会の創出に繋がっている。



# 障害者就労施設の工賃向上に資する生産設備の導入モデル事業取組事例（岐阜県）

## 実施事業所

就労継続支援B型nonbiri工房／株式会社アイジェクト

## 導入した設備

3Axisハイブリッドレーザーマーカ  
レーザーマーカ BOX架台  
パソコン 富士通FMVF77H3BE

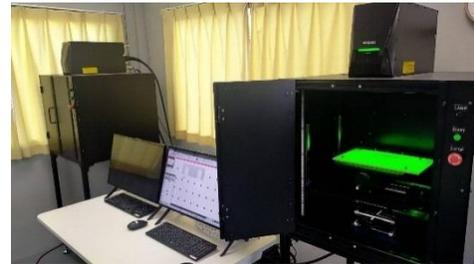
## 事業の応募のきっかけ(事業所が抱える課題)

岐阜県関市では、古くから内職産業が盛んに行われてきた背景もあり、現在も多くの方が内職に従事しています。しかしその一方で、内職の単価が全体的に低く抑えられていることが、地域の課題の一つとなっています。このような状況の中で、一般の業者が内職作業を請け負う際には、いかに他社との差別化を図り、単価の引き上げを実現していくかが大きな課題となっています。



## 事業内容

レーザーマーカによる刃物  
など金属品へのレーザー  
加工(名入れ等)



## 生産設備導入後の効果

レーザーマーカの導入により、名入れ加工などの新たな業務を受注できる体制が整い、これまでに4社から新規案件に関する打診をいただいております。これにより、これまで対応できなかった高付加価値の仕事が可能となり、単価の高い業務の獲得が進んでいます。利用者からは「最先端の機械を使って仕事ができることが嬉しい」「家族にも誇らしく自慢している」といった声があり、仕事に対するモチベーションの向上が見られます。レーザーマーカの作業は一定の手順に沿って行えるため、利用者にとっても取り組みやすく、安定した作業環境が整いつつあります。また、顧客からは「障がい者就労支援のイメージが変わった」「簡単な作業しかできないと思っていたが、レーザーマーカの導入で仕事を依頼しやすくなった」「こちらからの提案もしやすくなった」といった評価の声を多数いただいております。外部からの信頼や認知度の向上にもつながっています。今後さらに受注が増加すれば、利用者の工賃向上にも確実につながる見込みです。

# 障害者就労施設の工賃向上に資する生産設備の導入モデル事業取組事例（静岡県）

## 実施事業所

アイタス(就労継続支援B型)／合同会社アイタス

## 導入した設備

- ・小型餃子製造機
- ・フードミキサー
- ・冷凍自動販売機
- ・券売機
- ・トラクター
- ・ロータリー

## 事業の応募のきっかけ(事業所が抱える課題)

自家製餃子の製造、販売を行っているが、手作業での製造であるため、生産量に限りがあり、販路拡大ができない状態であった。餃子の原材料(キャベツ、ニラ等)についても、自前の畑で生産しているものの、十分な設備がなく、手押しの耕運機を使うなどしているため、作業時間が長く、職員、利用者の負担となっていた。



## 事業内容

餃子製造機を導入することにより、生産量を増やす。同時に冷凍餃子の自販機を設置することで、24時間販売できる体制を整え、販路拡大を図る。

原材料の生産については、トラクターを導入することにより、作業効率の向上を図る。

原材料の生産から販売までを自事業所で一貫して行うことで、製品のブランド力向上と高利益率化を実現し、利用者の工賃向上につなげていく。



## 生産設備導入後の効果

設備導入により、製造工程の機械化が図られ、餃子の量産体制を整えることができた。冷凍餃子の自動販売機を導入し、24時間販売することができる体制を整えたことで、売上アップにつながった。それに伴い、利用者工賃も500円以上向上させることができた。

トラクターの導入により、畑を耕す時間の短縮と利用者の身体的負担の軽減につながったことで、利用者からは以前よりも畑作業が楽しくなったとの声があった。顧客からは、時間に関係なく餃子が購入できるのが嬉しいとの声があった。

# 障害者就労施設の工賃向上に資する生産設備の導入モデル事業取組事例（愛知県）

## 実施事業所

あおぞら(就労継続支援B型)／あおぞら福祉事業株式会社

## 導入した設備

野菜包装机 IW06A

## 事業の応募のきっかけ(事業所が抱える課題)

現在、販売先スーパーより袋詰めを要望されているが、現在の事業所で行っている袋詰めは、椎茸を手作業で計量し、袋に詰めているので商品の特性上、変色や痛みを与えてしまう事が多く、慎重に作業する必要がある為、あまり多くの袋詰め作業ができない事が課題となっている。

これまでも、手順を改善したり、室温を調整することで痛みの少ない状態での袋詰めを試みてきたが、人の手による計量や、椎茸を掴む手の力によって傷んでしまい、販売先よりクレームとなる事もあった。このため、袋詰め要望やニーズはあるが、それに十分こたえることが出来ず、袋詰め椎茸の増産や品質向上が課題であった。



## 事業内容

2025年2月20日の設備導入後は、メーカーの方を招いての使い方講習と、自社での使い方講習を行い、操作方法の確認と利用者の方の役割分担を決めた。

また、出荷先スーパーに対して、価格交渉を行い、3月より導入設備により実際に袋詰めを行った椎茸の販売を開始しました。



## 生産設備導入後の効果

定量的な効果としては、R7年3月の実績として200g・・・140円の商品を、袋詰めすることで170円に30円単価を向上でき、40,800円の売り上げで7200円の利益向上効果があった。また、利用者からは「今までは、手で強く握らないように気を付けていたけど、重さを測って乗せるだけになったのでとても気楽に作業できるようになったのが嬉しいです。」といった声が聞かれた。

# 障害者就労施設の工賃向上に資する生産設備の導入モデル事業取組事例（大阪府）

## 実施事業所

桃花塾 通所部(就労継続支援B型)／社会福祉法人桃花塾

## 導入した設備

コーヒー豆焙煎機

## 事業の応募のきっかけ(事業所が抱える課題)

・既存主力事業の農作業は、栽培の成否で売上が変動し、収入が不安定であり工賃向上が難しかった。また、屋外作業のため体への負担が大きく、熱中症対策、利用者の高齢化、農業指導員確保の難しさも踏まえ、将来的な事業縮小を検討中であった。

・障がい者コーヒーバリスタ全国大会出場等の経験もあり、コーヒーになじみがあったことから、本補助事業を活用し、大型業務用コーヒー焙煎機導入によるコーヒー焙煎事業を実施することとした。室内で作業でき、定期受託が見込めることから、利用者の作業負担軽減、工賃向上を見込めると考えた。



## 事業内容

- ①安定的な焙煎受託取引  
温度管理などの設定を登録できる大型コーヒー焙煎機の導入により、簡易な作業で事業者が満足する条件(高品質、まとまった取引量、希望納期、価格)で安定的にコーヒー焙煎が可能となり、地元の事業者から継続的にまとまった量を受託できる見通しが立った。
- ②幅広い小売り販路確保  
焙煎したコーヒーを抽出が簡単なディップスタイルで製品化。これまで関係を築いてきた地元の企業、道の駅、ホテル、カフェ、作業所等、多方面に働きかけ、販路を広げている。
- ③利用者の作業負担軽減、工賃向上  
生豆選別、焙煎、梱包など室内で作業ができ、屋外の農作業に比べ利用者の負担が軽減された。安定的な売上確保による利用者の工賃向上を実現できた。



## 生産設備導入後の効果

- ・令和7年2月に設置工事完了し、3月販売開始。コーヒー売上により、令和7年3月度の月額工賃は令和5年度平均額に比べ3千円増の18,415円となった。
- ・令和7年度は、受託増・販路拡大により、導入前工賃から5,000円以上の増額を見込む。
- ・利用者の声は、「農作業と比較して、移動がなく、作業内容も負担が少ないため、体力的に楽になった」「興味のあるコーヒーの作業に携われて、工賃も上がって嬉しい」「こんなに高い給与は、初めてもらった。今後も、この仕事を頑張りたい」と好評である。



# 障害者就労施設の工賃向上に資する生産設備の導入モデル事業取組事例（兵庫県）

## 実施事業所

ルートプラス芦屋（就労継続支援A型）／株式会社ROOT PLUS

## 導入した設備

工業用ミシン一式

## 事業の応募のきっかけ（事業所が抱える課題）

取引先からの皮革製品の製造加工、ウェットスーツ製造の作業を請負うこととなったが、現時点では製造工程の一部加工工程のみの作業となっている。ただ、取引先からは、今後生地のカットから縫製、仕上げまでより多くの工程に取り組んでほしいとの要望があった。具体的な仕事内容や販路等のルートがあり、一般就労を目指す利用者へのニーズもあるが、設備がないため着手できていないという課題があった。



## 事業内容

伸縮性や保温性に優れたウェットスーツ素材をメインに取り扱い、機能性を重視したバッグや小物などのアパレル製品の製作の他に、ペット用品（犬の洋服など）を生産しデパートなどで販売を行いつつ、特殊な生産設備を整えることでウェットスーツ製作に伴う裁縫業務委託を受け入れ利用者の工賃の向上を目指した取り組みを行う。



## 生産設備導入後の効果

生産設備導入をすることによって利用者の平均賃金を79,646円→令和7年度には83,626.8円とする見込み。  
利用者の声として、「新しい機械が増え、縫製が正確・迅速であり助かっている」、「工業用のミシンは触ったことがなかったが、色々な仕組みがあって徐々に技術も身に付いてきたと思う」、「手で縫うよりもきれいにできて嬉しい」、「製作意欲が高まった」等の声があった。  
既存取引先からは、ウェットスーツ製作およびウェット生地を用いた小物雑貨について、仕上がりのスピードやクオリティについて飛躍的な向上が見られたとの評価を受けた。また、皮革製品の加工においても、ステッチ（縫い目）が均等である美しさを前提としつつ、複数種のミシンがあることでステッチのバリエーションが豊かである点も評価を頂いた。

# 障害者就労施設の工賃向上に資する生産設備の導入モデル事業取組事例（兵庫県）

## 実施事業所

アンソレイエ・レーヴ(就労継続支援B型)  
／一般社団法人ひょうご若者自立支援センター

## 導入した設備

レーザー彫刻機

## 事業の応募のきっかけ(事業所が抱える課題)

企業ノベルティなどで大量注文のお問合せを頂くが、どうしても生産量に限界があり、希望納期に沿うことができないために失注となる事案が多い。

R5年においては、希望納期に納入できない事が原因の失注金額が600万円あった。

また、竹製品製造の作業場がビルの3階部分となっており、大きな機械の搬入が不可能な構造となっている。

今回は窓部分の開口工事を行い、外からの直接搬入が可能になるように改装を行いたいと考えている。これにより、業務用の大型レーザー加工機を導入する事が可能になる。



## 事業内容

R5年から実施している竹製品の製造販売を行うことで、R4と比較して150%の平均工賃UPを実現した。その背景には、レーザー彫刻機の導入による竹製品への名入れなどの彫刻サービスが大きく貢献した。

しかし現在導入している彫刻機は入門機であり、生産量が限られている。現在の機種では十分な生産量が確保できず、販売店の新規開拓もできない状態であり、売り上げが頭打ちになっている。

新型機の導入により、生産量は700%UPが見込める。これにより十分な在庫数が確保できることから、販売先の新規開拓、ネットサービスへの登録が可能となる。現在も利用者が機器の操作を習得しており、導入予定の機器についても同様に利用者による操作習得を目指している。



## 生産設備導入後の効果

加工可能数が7倍になったことで、利用者工賃も比例して増加が見込める。現時点では受注(出荷)数が1.5倍に増加した。

利用者からは、待ち時間が減って、「たくさん生産できるので工賃が上がって嬉しい。」、「好きなデザインを社内購入できる。」などの声がある。

お客様からは、「初めて購入させてもらいました。対応もすごくよくて商品もしっかりしていてこの金額でこんなにしっかりしているのはお買い得だと思います(25.01.30)」、「この度は素敵なコースターをありがとうございました！」

実際に見てみると厚みがあって立派で、レーザー刻印もとても綺麗でした。大満足です。また機会があればオーダーさせていただきたいです。(25.02.02)」などの声があった。

# 障害者就労施設の工賃向上に資する生産設備の導入モデル事業取組事例（島根県）

## 実施事業所

ピー・ター・パン(就労継続支援A型)／社会福祉法人ふらっと

## 導入した設備

マテリアルプリント設備

## 事業の応募のきっかけ(事業所が抱える課題)

マテリアルプリント事業は年間2千万円の売上があったが、コロナ禍により売上が30%落ち込んでいた。また、安価なネットプリントサービスの普及により価格競争も激化するなか、競争力を維持するためには刺しゅうプリント・ガラスやアクリル板へのプリント加工・帽子やマグカップへの印刷など、多様化する顧客ニーズへの対応が課題であった。



## 事業内容

刺繍ミシンをはじめ、布製品へのプリントに使用するDTFプリンターと昇華インクプリンター、レーザー加工機、カッティングプロッター、各種プレス機などを新たに導入した。これにより、既存のプリント事業の生産性向上に加え、布以外の素材へのプリントなど、付加価値の高い製品を提供できる生産体制を構築することができた。



## 生産設備導入後の効果

- ・作業時間短縮、昇華プリントTシャツの内製化など、生産性の向上
- ・品質、生産量、スピードの向上により、顧客からの信頼が高まり、問い合わせ、受注件数が増加
- ・新たな機器の導入で利用者が関与できる業務の幅が広がり利用者の意欲が向上した
- ・プリント品目の幅が広がったことによる顧客への提案力の強化

# 障害者就労施設の工賃向上に資する生産設備の導入モデル事業取組事例（香川県）

## 実施事業所

縁結（就労継続支援B型）／株式会社Fate

## 導入した設備

大型冷蔵庫、プラスチック、スチールコンベクションオーブン、ラベルプリンター

## 事業の応募のきっかけ（事業所が抱える課題）

平均工賃は全国平均を大きく上回り、利用者も満足して通所していましたが、今後の工賃向上計画に沿った事業を行っていくには、現在の設備や就労支援の作業内容では限界があり、今後は生産性を上げていくことが重要になってくるため応募しました。導入前は手作業にて調理製造を行っていましたが、1日の製造量は約30食が上限でした。（生産設備を導入することにより、一度に調理ができるようになり生産数量も約3倍になりました。）



利用者仕込風景



惣菜【生姜焼き】



惣菜【かしわバター】

## 事業内容

・スチームコンベクションオーブンの導入  
現在1日約30食の製造になっている弁当食数が約100食まで増やすことができます。また調理時間も4時間から2時間へ短縮でき、その早まった時間を販売時間に充てる事ができます。

・プラスチックの導入  
総菜の作り置きも可能になり、大幅な時間短縮と売上増が見込めます。またメニューのバリエーションの増加と、それによる売り上げの増加が見込めます。

・大型冷蔵庫の導入  
仕込後の食材を保管し、調理製造までスムーズに行うことができます。

・ラベルプリンターの導入  
販売先の表示要件に合わせて、商品ラベルを作成することができます。



スチームコンベクションオーブン



プラスチック



大型冷蔵庫

## 生産設備導入後の効果

生産設備導入により、弁当販売による売上率を上昇できました。また、生産設備を導入することにより、導入時点から前年（R5年度）の同月の工賃を比較してみると、利用者の工賃を約2割上昇することができました。

さらに、製造量拡大と同時に販路開拓を行い、地元企業への弁当販売等、新たに5カ所増やすことに繋がりました。

＜販売実績＞

・導入前				
弁当	600円	30食	36,000円/週2回	144,000円/月
・導入後				
弁当	500円	100食	100,000円/週2回	400,000円/月
惣菜	300円	50食	60,000円/週4回	240,000円/月



弁当【生姜焼き】

# 障害者就労施設の工賃向上に資する生産設備の導入モデル事業取組事例（愛媛県）

## 実施事業所

就労継続支援B型みもぎ

## 導入した設備

自走式草刈機・背負い草刈機・管理機マルチセットウエイト  
電気卓上芋焼機

## 事業の応募のきっかけ(事業所が抱える課題)

さつま芋利用販売関連の事業をすすめていくには、最低限の機械、器具等が必要であるが、費用の面などで十分に揃えられていない。さつま芋は、栽培に手がかからず機械等があればご利用者と一緒に作業でき、設備があれば焼芋として販売できる。ひだまり工房では、若者等に大人気のさつま芋に目をつけ、栽培や収穫では、自然によりそった作業が、また、製造・加工作業では、座り作業も可能であるなど利用者様の特性やニーズにあう作業を提供することにより、利用者様の就労意欲と工賃・賃金の向上を見込んで応募した。



## 事業内容

12/1からの焼き芋販売に向けて、生芋の収穫～準備、事業とは別で芋の保管容器・焼き芋販売旗・焼き芋チラシの新聞折込・焼き芋お渡し用新聞袋を利用者の作業並びに、自己資金で確保した。12月から1月焼芋関連売上11万円を売り上げて利用者工賃アップに寄与した。今後は、焼き芋スイーツ・芋を活かしたパンメニューを開発していく。



## 生産設備導入後の効果

“ 工賃についてはまずまずの効果が出ている。月3万円程度増えている。本来の効果は、7年度からの見込みである。芋焼機で自分で焼き、でき上がった焼き芋について試作品を食べさせてもらった、非常に甘くまた食べたいと思った。お客さんに胸を張って提供できると喜ばれていた。自走式草刈機について省力化でき、草刈り作業がはかどりと、今までより草刈り作業に出る機会が増えた。”

# 障害者就労施設の工賃向上に資する生産設備の導入モデル事業取組事例（長崎県）

## 実施事業所

いきいき農園（就労継続支援B型）／社会福祉法人ことの海会

## 導入した設備

- 電解水生成装置：規格外品の野菜を殺菌洗浄するための設備
- 粉砕機：乾燥野菜をパウダー状にするための設備

## 事業の応募のきっかけ（事業所が抱える課題）

当事業所では、これまで農業を中心に取り組み、地域の農業生産法人と連携し、施設外での福祉的就労に力を入れている。地域の農業生産法人は、社会的課題である農業労働力の減少や障害のある方や高齢者等が働く場の創出のため、農福連携を推進し、地域では欠かせない取り組みとなっている。活動はハウス内での農作業や出荷室での出荷作業が中心だが、夏場の作業や屋外での農作業が難しい高齢の利用者や障害特性上等農作業が難しい利用者について、新たに屋内で取り組む作業が必要だと感じていた。また、現在取り組んでいる生産や出荷作業に関連した規格外品等野菜の加工品の製造・販売に取り組むたいと思ったことがきっかけ。



地域企業や県の食品開発支援センターと今後の加工についての話し合いを実施



加工にて利用者によるじゃばらの薄皮剥き



加工して試作したじゃばらの粉末

## 事業内容

### ○電解水生成装置

#### 【用途】

野菜・果物の洗浄殺菌。原材料を生成された電解水によって消毒を行う。洗浄し、殺菌処理を行う。腐敗・変敗の有無の確認をし、あれば除去する。

#### 【能力】

殺菌効果のある次亜塩素酸水（酸性電解水）が生成される。

#### 【衛生上留意点】

本取組は、小規模な野菜乾燥粉末製造事業者におけるHACCPの考え方を取り入れた衛生管理が必要。野菜乾燥粉末製造工程において、受け入れた野菜や果物を殺菌することが重要。

### ○食品粉砕機

#### 【用途】

乾燥した野菜・果物を、粉砕機を使用して粉砕する。

#### 【能力】

粉末の粒子サイズは、0.3ミリから6ミリまで対応可能。乾燥野菜や果物を適切な粒度に粉砕することができる。

#### 【衛生上留意点】

粉砕機器の破損等による異物混入。アレルギーの交差接触。



電解水生成装置



食品粉砕機シュガーミル

## 生産設備導入後の効果

本取組により、新たな作業機会を提供することができるようになった。料理教室に通っている利用者からは、「下処理の刻み作業をしてみたい」との声があり、自らの学びを実践に活かせることへの喜びと意欲がうかがえた。これまでの生活経験や趣味と就労を結びつけられることで、作業に対する主体性やモチベーションの向上が期待されている。こういった声は、作業の多様化が利用者一人ひとりの関心や特性に応じた新たな役割を生み出すことを示しており、福祉的就労の可能性を広げる取り組みとして、大きな意義があると感じられる。また地域企業からの乾燥・粉末加工の相談もあっており、将来的な受注や加工品目の製造によって、利用者工賃の向上につながる可能性が生まれている。現在は、試作・検証及び製造体制構築段階にあり、製品の品質評価と製造体制の整備を進めている。

# 障害者就労施設の工賃向上に資する生産設備の導入モデル事業取組事例（宮崎県）

## 実施事業所

いつかの杜(就労継続支援B型)／社会福祉法人いつか会

## 導入した設備

パイ生地ローラー SPE500

## 事業の応募のきっかけ(事業所が抱える課題)

事業所の生産活動の一つとしてアップルパイ等の菓子製造を行っており、パイ生地製造では職員による手作業工程があるため、製造個数は20個/週程度という状態であった。

そのような中、リピーターが徐々に増えており人気商品になるも、多くの注文を受注できないという課題を抱えていた。



## 事業内容

事業所ではピザハウスやはりきゅうマッサージの運営のほか、味噌や菓子製造を実施している。

今回導入した設備は菓子製造事業において活用されており、一度に大量の商品が製造可能になったほか、商品の質の均一化にも貢献できており、生産性の向上に繋がっている。

また、導入した設備ではパイ菓子だけでなく菓子パン等にも対応できるため、現時点では取り組めていないパン類の商品開発にも期待が見込める。



導入したパイ生地ローラーSPE500

## 生産設備導入後の効果

設備導入前の平均工賃月額額は約3万円前後を推移していたが、設備導入後には5万8千円を超える月も見受けられ、補助金の効果が顕著に現れている。

また、季節商品の開発も着実に進んでおり、先日の母の日においてはホールパイの新商品を販売するなど、効果的な設備活用を行っているといえる。

今後も増産や新商品開発に取り組むとのことであり、更なる工賃向上が期待できる。



# 障害者就労施設の工賃向上に資する生産設備の導入モデル事業取組事例（川崎市）

## 実施事業所

ONEGAME川崎貝塚(就労継続支援B型)  
／オレンジキャット合同会社

## 導入した設備

DTFプリンター式、卓上乾燥機、卓上プレス機  
生成AI用PC

## 事業の応募のきっかけ(事業所が抱える課題)

工賃向上の為の新たな軸となる事業を模索していたところ偶然、京都でB型事業所を経営していた代表者さんの本をAmazonで読み、その事業所のオリジナルTシャツ製造等のノウハウを得たいと考えた。当事業所では動画編集などクリエイティブな作業に強みを持っていたので、その事業所では行っていないAIデザイン生成を当事業所では取り入れ、独自性を出したいと考えた。

### 【事業所が抱えている課題】

- ・生産設備がない
- ・生産ノウハウ、スキルがない

## 事業内容

- ・DTFプリンターを導入し、オリジナルシャツやグッズ等の製造販売という新たな事業軸を作る。
- ・生成AI専用のPCを導入し、より早く高解像度のイラスト、デザインを生成し生産性をアップする。
- ・ノウハウを学ぶためノウハウを持っている事業所への見学および研修を行う。



【DTFプリンター】



【乾燥機・プレス機】



【生成AI用PC】

## 生産設備導入後の効果

### 【定量的な効果】

- ・お試して1枚制作お願いしたい×15件
- ・見積もり依頼×1件

### 【利用者の声】

「オリジナルシャツ作りを学んでみたい」

「AIを学んでさまざまなことに利用してみたい」

「見たことない大きな設備でしたが、印刷する機械と聞いて驚いた。自分でも使えるようになりたい。」

### 【顧客の声】

早急に依頼しようとは思わないが、必要になった際は見積もりをお願いしたい、等※導入したばかりなので工賃アップを早急に行えるよう努力



# 障害者就労施設の工賃向上に資する生産設備の導入モデル事業取組事例（浜松市）

## 実施事業所

朝霧フードラボ(就労継続支援B型)  
／社会福祉法人和光会

## 導入した設備

クラフトビール醸造機器

## 事業の応募のきっかけ(事業所が抱える課題)

朝霧フードラボでは、トマト栽培に取り組んでいますが、下記の課題がありました。①農業生産における端境期(8月-11月、2月-4月)があり、年間通じての作業ができていない。②トマト生産と商品ブランディングは成功し販路は確立されているものの、キズやふぞいの「規格外野菜」によって廃棄処分しているトマトが3割程度ある。また廃棄しているトマトを加工できる取り組みができていない。(SDGsつくる責任つかう責任)③昨今の猛暑の影響により夏場の農作業に安全面の不安を感じるため、室内作業を含め年間通じて安定した作業ができていない。このため、利用者への工賃向上について検討を重ねていたところ、規格外野菜を活用した新規事業として、先進事例で工賃向上を果たしているクラフトビール事業へ取り組み、利用者の工賃向上を図るため導入を決めました。



## 事業内容

現在は、酒類製造免許申請中であるため、ビールの醸造所となる旧児童福祉施設の食堂・厨房あとにクラフトビール製造機材や装備を配置し、製造開始に向け定期的な換気と清掃を行っている。

製造開始後には、製造設備の洗浄やビール瓶の洗浄、ラベル張り、材料運搬などの作業を行う予定です。

利用者の方が制作した絵やイラストなどをラベルに活用することができないか、法人内事業所とも連携するなどして取り組む方向です。

製造したクラフトビールは、当法人で運営している飲食店(収益事業)での販売のほか、市内の居酒屋などでも販売する予定です。

また、将来的には通信販売をしたりふるさと納税の返納品として選ばれるような取り組みを行っていきたいと考えています。



## 生産設備導入後の効果

現在は酒類製造免許申請段階であるため、酒類製造は行っておりません。このため、利用者、職員が製造場所となる旧児童福祉施設の食堂・厨房の清掃換気作業を日々行っています。

利用者の方の中には、製造のための機材が搬入されていることもあり、新しい仕事への興味や栽培しているトマトが使われることへの期待など、作業意欲を高める効果も見られ、従来からのトマト栽培作業などへも活気が上がってきているように感じられます。

利用者からは、「ビールができたなら飲んでみたい。」などと製造と飲酒への期待の声が見られています。

# 障害者就労施設の工賃向上に資する生産設備の導入モデル事業取組事例（堺市）

## 実施事業所

おめでたい(就労継続支援B型)／NPO法人kokoima

## 導入した設備

キッチンカーおよび常滑焼壺

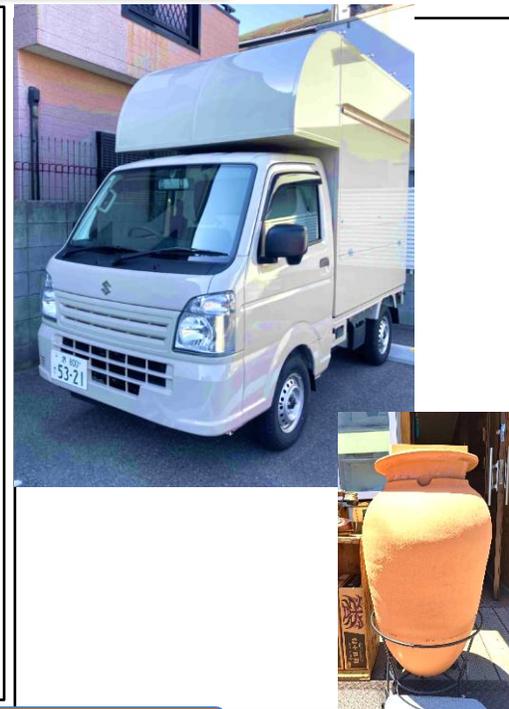
## 事業の応募のきっかけ(事業所が抱える課題)

事業所の所在地である地域の特性が課題である。近隣の大学(関西大学堺キャンパス)、連合自治会、地域住民とのイベントなど地域連携事業に利用者とともに積極的に取り組み、地域内の知名度は向上していると自負している。しかし、事業所が生産している商品(壺焼き芋、Caféメニューなど)に対する地域の購買力は高いとはいえないのが現状である。事業所を拠点に、購買力を期待できるイベント(マルシェ、フェスなど)、駅(南海電鉄の無人駅など)、他施設(福祉、医療系の施設など)などに積極的に出店することで飲食部門における生産収入向上を図りたい。「つぼ焼きいも」は、コロナ禍で減少したCafé部門の集客と収入向上対策として開発したテイクアウト商品である。キッチンカー導入により、軽トラックでは販売できない冷やし焼き芋や焼き芋スイーツ、カフェメニュー等を販売し、生産収入を向上させたい。



## 事業内容

2024/11/26 補助金交付決定  
提供メニュー(焼き芋アイス、味噌カレー)の検討及び試作開始。利用者にキッチンカー導入について共有。  
12/1 常滑焼壺購入  
壺に慣れるため、キッチンカー納車前から積極的に使用。  
2025/2/21 キッチンカー納車  
3/7 飲食店営業(自動車)許可取得  
3/13 テストラン(関西大学堺キャンパス、八丁味噌カレー22食)  
3/27 テストラン(関西大学堺キャンパス、八丁味噌カレー20食)  
本格営業に向けたテストランでは利用者及び職員の食事提供を中心に、一般客への販売も行った。利用者は調理、販売時の接客などを担当。受け渡し手順などを確認した。今後のブラッシュアップのため、テストラン後に利用者及び職員で振り返りを実施した。



## 生産設備導入後の効果

令和5年度平均工賃 32,680円(R5年4月～R6年3月)／令和6年度平均工賃 35,967円(R6年4月～R7年3月)

平均工賃は前年度から3,287円上昇した。キッチンカーの2024年度内稼働はテストランにとどまったため、直接的な生産収入増加を実現することはできなかった。しかし、キッチンカー導入が利用者の新たな仕事への興味関心を生み、モチベーション向上につながったといえる。例年1月から3月は通所が不安定になる利用者が増える傾向にあるが、2024年度は通所回数・時間の大幅な減少はみられなかった。この点も導入によるものといえる。また、常滑焼壺の導入により、焼き時間は3割程度減少し、温度管理にかかる時間も大幅に減少したため、利用者の接客力向上支援にも注力できた。「キッチンカーで何を販売するのか」「いつから販売に行けるのか」「ポスターやメニュー表などたくさん飾りつけが必要だから考えたい」「私もキッチンカーの仕事をしたい」「出張販売には行けないが仕込みでがんばりたい」など、キッチンカーでの販売に興味関心を示したり、積極的にかかわりたいという声が多く上がった。

# 障害者就労施設の工賃向上に資する生産設備の導入モデル事業取組事例（旭川市）

## 実施事業所

セルプ豊里(就労継続支援B型)／社会福祉法人旭川春光会

## 導入した設備

COMNET社製 レーザー彫刻機 型式: Spirit 40Vi

## 事業の応募のきっかけ(事業所が抱える課題)

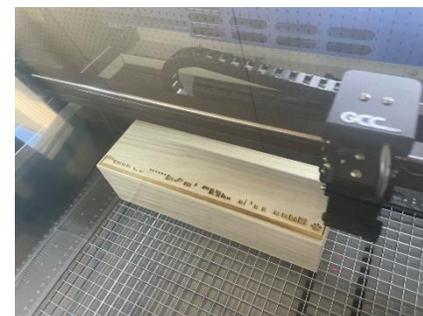
市場には安価で高品質な木工製品が数多く流通しており、その影響を受けて、当事業所で製作する木工製品の受注量は年々減少傾向にありました。このような状況の中、既存製品の改良や、デザイン面での付加価値を高めた新商品の開発によって、消費者の購買意欲を喚起することが大きな課題となっていました。

そうした課題を解決する手段として、機械力により高品質な製品を安定的に反復製造できるレーザー加工機の導入を検討してきました。レーザー加工機は木材だけでなく、革・フェルト・アクリル・金属など多様な素材への加工が可能であり、その応用範囲の広さからも、大きな可能性を感じており、導入への期待は非常に高まっていました。



## 事業内容

木材へのレーザー彫刻によるオリジナル商品の製作および販売事業に取り組んでいます。観光土産品や、企業・団体からの記念品・ノベルティの受注製作など、新たな販路開拓も視野に入れて事業を展開しています。導入設備を活用し、デザインから製作、仕上げまで一貫して行える体制を整え、利用者が積極的に工程に関われるよう作業内容の精査と支援体制の工夫を行っています。



## 生産設備導入後の効果

レーザー彫刻機の導入により、付加価値の高い製品の製作が可能となり、従来よりも高単価での販売が実現しつつあります。利用者も新たな作業に興味を持って積極的に取り組むようになり、作業への意欲やモチベーションの向上が見られました。また、レーザー加工という新しい分野への挑戦は、利用者の技術習得やスキル向上にもつながっています。旭山動物園向けの観光土産品や、季節行事にちなんだ鯉のぼりのオブジェ、保育園の卒業証書のサンプル製作など、地域との連携も進み、外部からの受注機会も増加しています。これにより、事業所全体の活気と展望が広がっています。

# 障害者就労施設の工賃向上に資する生産設備の導入モデル事業取組事例（柏市）

## 実施事業所

第2こだま(就労継続支援B型)／社会福祉法人青葉会

## 導入した設備

農業機械(管理機、動力噴霧器、刈払機、長ネギ根葉切機、掘取機、小型トラクター及びアタッチメント)

## 事業の応募のきっかけ(事業所が抱える課題)

第2こだまは、2015年に知的障がい者や自閉症者を対象に開設した就労継続支援B型事業所です。2018年に分場として専ら農業を営む第3こだまを開設し、農福連携により就労継続支援に取り組んでいます。これまで、近隣の篤農家から137aの広大な農地をお借りし、農機具の無償貸与、技術指導などの協力を得て、地場産品である白ネギを中心としてサトイモ、エダマメ、ハクサイ、ジャガイモ、サツマイモ等を栽培し、地域に出荷してきました。

安定、かつ充実した営農により、工賃の確保とともに、利用希望者の増大に応えた事業の拡大を目標としています。営農していくための基礎的・基盤的な生産設備となる農業機械の整備は必須となるため、現在は近隣農家のご厚意で借用している全ての農業機械の自前で整備することを目的として本モデル事業に応募しました。



## 事業内容

夏以降に農業機械の発注を始めたことから、導入後の期間が短く、現時点では限定的な作業、農業生産となっています。具体的には、管理機によるマルチ被覆、刈払機による圃場整備、掘取機によるサツマイモの収穫、白ネギ他野菜への農薬散布、トラクターによる白ネギ畑畝間の除草並びに土寄せは実施できました。一方、白ネギは、収穫の時期待ちのため、まだ、白ネギ根葉切り機、ネギ用掘取機は使用できていません。

### 1. 汎用野菜栽培用の設備

- ①管理機(平畝マルチを張る機械) 2台
- ②動力噴霧機(農薬を撒く機械) 2台
- ③刈払機(雑草を刈る機械) 2台

### 2. 露地白ネギ栽培用の設備

- ④白ネギ根葉切り機 1式
- ⑤掘取機(白ネギを掘り上げる機械) 1台
- ⑥小型トラクター及びアタッチメント 1式

### 3. その他の個別野菜用の設備

- ⑦掘取機(サトイモ、ジャガイモ、サツマイモを掘り上げる機械) 1台



## 生産設備導入後の効果

<工賃> 利用者の平均工賃は、4月分より2月分までは12,444円、3月分は35,641円でした。今年度の前半は、夏の猛暑とともに白ネギの病害により凶作となってしまう、農業収入が大幅に減収。そのため、秋までは、4月当初に確定した工賃月額12,444円を支払う収入を確保できず支出超過の事態で推移、しかし、冬からは、今回の補助事業で整備した機械等の利用により、農業収入は安定し始め、収支は逆転し農業による工賃支払いは順調に回復しました。

<利用者からの声、お客様の声>

- ・夏は暑くて野菜ができなかったが、機械が入ってがんばったので3月にボーナスをもらえた。
- ・色々な野菜を近所の方に配って喜ばれるのが誇らしい。家庭に野菜を買って帰り、自分達で作った野菜だと言うと家族がビックリして食べてくれる。
- ・最近、従来より冬野菜の品ぞろえが豊富になったため、直売所に野菜商品が途切れる事なく陳列できており嬉しいとのこと。特にエダマメ、ホウレンソウは人気があり、リクエストが多かった品目、前回美味しかったから、また買うと仰るお客様も多い状況になっています。

# 障害者就労施設の工賃向上に資する生産設備の導入モデル事業取組事例（福井市）

## 実施事業所

ワークハウス(就労継続支援A型)／有限会社ワークハウス

## 導入した設備

スーパー包あん成型機

## 事業の応募のきっかけ(事業所が抱える課題)

平成30年に事業承継を行った和菓子製造部門にて商品開発を行った自社製品「Have Tae TOAST」は、全国版のバラエティ番組に取り上げられたことや北陸新幹線延伸の影響もあり、順調に注文数を伸ばしている。特に道の駅等では、地域の特産品(南条の蓮を乾燥させてパウダー化し、羽二重餅に練りこんだもの)を使ったラインナップを増やし大変好評を得ている。

全国の企業からも新規取引の希望を多数受けているが、現在の設備では県内の需要に対して何とか供給できている状態であり、県外への出荷が制限されている。利用者の高齢化、障がいの重度化等により利用者の技術に頼った増産は限界があると感じていた。



## 事業内容

今回のモデル事業で新しく包あん成型機を導入することで、従来手作業で加工していた羽二重餅の成型過程が、機械により自動成形できるようになり、生産数が大幅に増加した。

また、利用者が操作しやすいよう、納入業者と連携し、機械のカスタマイズを行うことで、作業効率や安全性の向上を図っている。



## 生産設備導入後の効果

従来に比べて作業時間も短縮され、利用者の負担も減り、スムーズに作業ができるようになった。

また、生産数も今までの4倍近くになり、売上アップに繋がるとともに、今後の販路拡大も期待できる。

さらに、作業時間の短縮により、他の作業(商品の袋詰めや他商品の製造、新商品の開発など)に人員を充てることができるようになった。

これらの相乗効果により、利用者の工賃向上が見込まれる。

# 障害者就労施設の工賃向上に資する生産設備の導入モデル事業取組事例（岐阜市）

## 実施事業所

就労継続支援B型事業所アンドワークス  
／ウィンキャリア株式会社

## 導入した設備

コーヒー豆大型焙煎機

## 事業の応募のきっかけ(事業所が抱える課題)

【課題：生産量が少なく販路拡大ができない】  
私たちは、2019年4月より就労継続支援B型事業を開始し、コーヒーの自家焙煎珈琲豆を自主製品として生産しています。事業開始から現在まで、1回あたり100gを焙煎する「小型」焙煎機を使用し、コーヒー豆を生産していました。焙煎されたコーヒー豆は、そのまま袋詰めして販売したり、粉碎してドリッパーに加工して販売しています。ただ、「小型」焙煎機を使用しているため、生産量が決して多いとは言えず、コーヒー豆やドリッパーの販売は、当施設（アンドワークス）の店頭や、自治体が主催する販売会等に限られていた為、豆を焙煎する生産能力が上がれば、販売拡大・工賃向上につながるのではないかと考え応募しました。

## 事業内容

自家焙煎珈琲豆を生産し、  
ドリッパーパック珈琲へ加工する作業

- 【加工工程】
1. 生豆の状態では不良豆を取除く
  2. 大型焙煎機(3キロ)で焙煎する
  3. 焙煎された豆から不良豆を取除く
  4. 珈琲豆をミルで挽いて粉にする
  5. フィルターに粉を入れ封する
  6. 外袋にフィルターを入れ封する

【販路拡大】  
生産能力が飛躍的に向上したことにより、今後は小売店への卸売営業も考え、販路を広げる予定



## 生産設備導入後の効果

【定量的な効果】  
①1日あたりの焙煎力（現在）1kg(100g×10回転) →(導入後)3kg(3kg×1回転)  
②生産能力(現在)2名が作業(共用シーラー1台、ミル1台)  
(導入後)15名が作業可能(フィルター用シーラー5台、外袋用シーラー5台、ミル5台)  
③1ヶ月あたりの最大売上  
(現在)2,500袋 37.5万円(うち粗利益約22万円) →(導入後)25,000袋 375万円(うち粗利益約100万円※)  
※利益率が下がる理由・・・大量受注による値引き、委託販売における委託手数料を20～30%と想定した為  
結果、弊施設の受入可能な利用者数は【現在の1.1倍増】、利用者の工賃は【現在の1.4倍増】を見込んでいます。  
【定性的な効果】  
「YAJIMA COFFEE」から焙煎技術の指導を受けたスタッフが、わかりやすい手順に表したマニュアルを作成・掲示することで、様々な障害を持った利用者と共に焙煎できる環境を整えることができます。  
【利用者の声】  
期待の声が多い。焙煎機が導入された事で、これからたくさんのコーヒー豆が生産できて、ドリッパーパック珈琲を作る作業が増えて楽しみ。



写真

# 障害者就労施設の工賃向上に資する生産設備の導入モデル事業取組事例（岐阜市）

## 実施事業所

Plus（就労継続支援 A 型）  
／株式会社ナチュラルアビリティ

## 導入した設備

JUKI / LK1902BN（工業用ミシン）

## 事業の応募のきっかけ（事業所が抱える課題）

従来、当事業所がメインで受注をしていた業務は以下の課題を抱えており、早急に手を打つ必要があった。

- ① 手作業のため単価が安い。
- ② 顧客の自動化設備導入により仕事量が減少した。

その為、付加価値の高い業務の比率を高めるとともに、安定的な仕事量の確保に繋がたいと考えていた所、ミシンを使った縫製作業を受注していた顧客より、縫製部品の必要数が増えるとの情報を入手した。



## 事業内容

付加価値の高い縫製作業の受注量を増やすため、工業用ミシンを2台購入する。

ミシンの台数が増えることで、設備の能力が増えるだけでなく、ミシン作業ができない利用者にミシン作業の訓練をしてもらう時間を確保できるようになるため、ミシン作業の受注量を増やす事ができるようになる。

その結果、付加価値の高い作業の売上比率を上げることができ、営業利益率が向上するため、利用者の賃金向上に繋げることができる。



## 生産設備導入後の効果

設備を導入したばかり（令和7年2月導入）なので効果が正確に測れないものの、設備導入前である2025年1月の利用者賃金合計に対して2月の利用者賃金合計は5.7%増加、3月の利用者賃金合計は8.4%増加している。

初めはミシン作業に対して少し怖がっていた利用者も、練習する時間が取れるようになった事で、すぐに作業に慣れ、多くの利用者がミシン作業ができるようになってきている。

（ミシン作業可能人数 3名 から 15名(2025年4月時点) に増加）

顧客からも感謝の声を頂いており、ミシン作業だけではなく前後工程の作業の受注にも繋がっている。

# 障害者就労施設の工賃向上に資する生産設備の導入モデル事業取組事例（豊橋市）

## 実施事業所

トライアングル(就労継続支援B型)／株式会社TRY

## 導入した設備

Versa OBJECT MO-240 (UVプリンター)  
Piolas400 GLS 80w (レーザー加工機)

## 事業の応募のきっかけ(事業所が抱える課題)

### 【特定の利用者しかできない作業がある】

工程の多い複雑な作業であったり、工夫が必要な作業は誰でもできるわけではありません。どの利用者でもできる作業は総じて単価が安い場合が多く、生産性を上げて工賃を上げるに至らない場合もあります。

### 【安定した通所ができない時がある】

利用者が心身の不調で欠席する場合、予定していた作業量を終わらせることができず、職員や他の利用者に負担がかかるケースがあります。だからといって、作業量に余裕を持たせると、作業が早く終わってしまうこともあります。

### 【支援の充実と生産性向上のバランス】

就労継続支援B型事業所において、利用者さんへの支援と生産性の向上は切り離せない問題だと考えます。しっかりとした工賃を払いたいと考え、生産性の向上は最重要事項でもあります。ただ、生産性だけを追い求めると作業や納期に追われてしまうため、いかにバランスを取るかが課題です。



## 事業内容

UVプリンターではアクリルや木材に直接印刷をすることができます。また、印刷した素材をレーザー加工機でカットすることで様々な形状のものを作ることが可能です。例えばアクリルキーホルダーやアクリルスタンドなどを小ロットから製作可能です。

UVプリンターで様々な印刷を、レーザー加工機でカットや彫刻を行い、オリジナル商品を作成していきます。それだけでなく、敬老の日や母の日、父の日のギフトや会社のノベルティー商品など各種贈答品の製作も考えております。



## 生産設備導入後の効果

現状、導入した設備で製品を作って販売する段階には至っていません。まずは設備の使い方やデータの作り方など、職員が覚えている段階になります。ただ、今後販売していく製品のサンプルなどを作成していると、「お店に売っている商品みたい」「いっぱい色々作りたい」など、利用者自身がワクワクしている感じが伝わります。また「こんなのは作れる?」「こういったものを作りたい」など、生産設備を通してこれまで以上のコミュニケーションができていると思います。

今後は、できるだけ早く市場に出せるクオリティーまで品質を上げ、生産設備を活用して仕事を増やし、工賃向上につなげていきます。

# 障害者就労施設の工賃向上に資する生産設備の導入モデル事業取組事例（豊中市）

## 実施事業所

就労継続支援B型たんぽぽ／株式会社サンライフ

## 導入した設備

冷凍冷蔵庫、ブラストチラー、卓上高温真空包装機、電子天秤ハカリ

## 事業の応募のきっかけ(事業所が抱える課題)

冷凍冷蔵庫が一般家庭用であることから、自社製品であるマフィンの材料を保管・収納するには容量的に非常に小さく多量注文が受けられない。冷却力が弱く、材料管理やマフィン保管に対し不安。賞味期限を短くせざるを得ない。お中元や手土産に使えるよう賞味期限が長い商品が欲しいとお声がけいただくも急速冷凍ができる専門ツールがなく、そのニーズに応えられていない。マフィンの材料収納冷蔵庫は、利用者と共有のため飲み物や食べ物が入っているため、開閉も頻繁、衛生面における課題を感じる。材料の計量において家庭用の計りを使用しているため何度も計量し非常に非効率。



## 事業内容

障害者総合支援法に基づいた就労系福祉サービスとして就労継続支援B型の施設を運営しており、障害や病気などで一般就労が困難な方を対象に軽作業などの就労機会や就労訓練などを提供している。

仕事はDM封入等の他社からの委託業務と自社製品制作と販売がある。その主たる商品としてマフィンの製造販売を行っている。今回導入した生産設備はこのマフィン製造に関するものである。



## 生産設備導入後の効果

消費期限が伸び、計画生産ができるようになったことで販路は増え、売上としても25%上がった。

利用者の声

整理整頓され使いやすくなった。物を戻す位置がわかりやすくなり自分で戻せるようになった。洗いがしやすくなり嫌だったけど自分で洗うようになった。綺麗な厨房で作業することで気分よくお仕事ができる。マフィン作りで自分もできることが増え、販売するときによりマフィンへの思いが強くなった。

# 障害者就労施設の工賃向上に資する生産設備の導入モデル事業取組事例（枚方市）

## 実施事業所

いそしまカーム(就労継続支援B型)／社会福祉法人高潤会

## 導入した設備

高床式砂栽培設備

## 事業の応募のきっかけ(事業所が抱える課題)

軽作業・清掃を中心に平均工賃35,000円を維持してきましたが、利用者のニーズの多様化や高齢化に伴い働き方にも多様性が求められ、また、さらなる工賃向上を目指し、軽作業以外の作業開発を検討している際に、近隣農家の生産する野菜販売を依頼されたことから、農家との交流が広がり、そういった中で農家の後継者不足が深刻な地域課題となっていることを知り、後継者のいない農家からの複数の農地の寄付を受けたことを期に稲作を開始しましたが、稲作では利用者への工賃還元率が低い状態であるため、栽培品目・方法を変更する必要性が生じました。令和5年度から寄付して頂いた農地の一部を使用し、低コスト耐候性ハウスと高床式砂栽培設備を導入しチンゲン菜の栽培に変更を進めていますが、農地の一部しか使用していない状況であることから、さらなる工賃向上を目指し高床式砂栽培の事業拡大を進めていきたいと考えています。



## 事業内容

高床式砂栽培設備を増設  
チンゲン菜・小松菜の栽培を行う



## 生産設備導入後の効果

高床式砂栽培設備が増設されたことで、利用者の就業数が増加(6人)。障がいのある人の多様な働き方に寄与することができた。外作業を希望する利用者も多々存在する中で、それぞれの個性や能力を活かし、社会参加を促進することができ、また、就業数の増加は利用者の満足度を上げる結果となった。

# 障害者就労施設の工賃向上に資する生産設備の導入モデル事業取組事例（八尾市）

## 実施事業所

アドバンス(就労継続支援A型)／株式会社アドバンス

## 導入した設備

PR1055X ブラザー 業務用刺しゅうマシン 1頭10針

## 事業の応募のきっかけ(事業所が抱える課題)

アドバンスではTシャツ等の印刷を行っており利用者様がデザインを考案している。

### 課題

- Tシャツやバック等の印刷時に刺しゅうデザインの注文があるが刺しゅうできる機材がない。
- 手刺繍なので、量産できないので販路が限られている。
- 手芸や機械操作が得意な利用者様がおり技術習得により工賃向上が期待できる。
- 刺しゅう印刷ができる事により定期的にあるキックボクシングイベントでの選手ユニフォームの刺しゅうが行える。
- 利用者様のデザインクオリティがあがっている為刺しゅうでの印刷ができる事で新たな商品開発や販売に繋がりたい



## 事業内容

ワッペン、Tシャツ、バック等に利用者  
がデザインした刺繍をする。

主にイベント会社、飲食店、スポーツ  
チームからの依頼を受けて、受注生産を  
している。

### 課題解決の取り組み

- 刺しゅうマシン機械操作の勉強会を  
開催し多くの利用者様が機械操作を行  
える様になり量産に繋がる
- 刺しゅうができる事によるデザイン  
の幅が広がる
- Tシャツだけでなくハーフパンツ、ワ  
帽子、タオル、バッグ、ワッペン等新たな  
商品の開発に取り組めるようになる

本体サイズと重量



## 生産設備導入後の効果

- 手芸担当の方はマシン導入により効率が上がりミスも軽減。手縫いと刺しゅうミシンの新しいデザインの制作もできた。1日1つしか制作できなかったものが3つ作れるようになった。
- 1度に受注できる数が増えたことで、売り上げも上がっている。
- 刺繍デザインの新品開発により販売商品を増やす事ができ、定期イベントだけでなく販売先を広げることができた。
- デザインの幅が広がる事によりオリジナルロゴ等の注文も増加した。
- 印刷機と並行して機械を動かすことができる為量産に繋がった。
- 技術を習得する事により利用者様のモチベーションアップに繋がった

# 障害者就労施設の工賃向上に資する生産設備の導入モデル事業取組事例（東大阪市）

## 実施事業所

サンクエール(就労継続支援A型)／株式会社空と海

## 導入した設備

製麺機・オープン・スタンドミキサー・瞬間冷凍庫・冷蔵庫真空包装機・券売機・厨房工事

## 事業の応募のきっかけ(事業所が抱える課題)

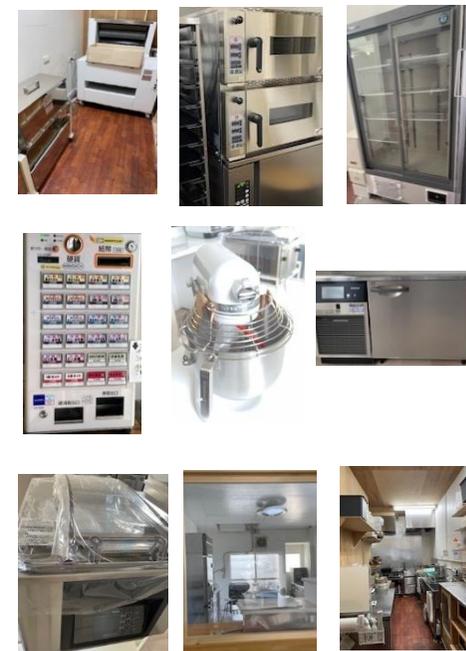
利用者を増やせば売上げも必要となるので、同時に伸ばすことが困難な状況だった。うどんの一日の生産量にも限りがあり、飲食店では対面で金銭のやり取りをしており、金額の間違いや、注文までに時間がかかりスムーズに食事の提供が出来ていなかった。券売機があれば間違いもなくなり、注文から食事提供まで時短になると、人員を他に配置でき、回転率も上がることから売り上げアップにつながる。ランチタイム以外の売り上げも作りたく、焼き菓子についても業務用オープンで量産し販路も拡大したい。利用者数が増えてきたらパンの販売もしていきたい。今は量産もできず人員も足りていないので注文を抑えている状況でした。



## 事業内容

うどん量産、店舗での作業効率化による売り上げアップを目指す。業務用機器は焼き菓子の量産によって販路拡大が目的。業務の幅が増え、今後の工賃アップに繋がる。

- ・製麺機・・・うどんの生産量を上げる
- ・オープン・・・焼き菓子の増産  
パンの製作も可能
- ・冷蔵庫・・・うどん玉・生地保存
- ・券売機・・・金銭の間違いを無くす  
食事提供までの時短
- ・ミキサー・・・焼き菓子・パン量産
- ・瞬間冷凍庫・・・生地を美味しく保存  
テイクアウトにも使用
- ・真空包装機・・・テイクアウト包装や  
生地の冷凍に使用
- ・厨房工事・・・機器導入による工事



## 生産設備導入後の効果

うどんの生産量が上がり、ランチタイムのお客様の取りこぼしも減り、回転率をアップさせることが出来ている。集客率が10～20%upしている。焼き菓子についても順調に販路拡大が出来ている。OEMで月1,000～2,000個フィナンシェの注文が取れた。クオリティも格段良くなり、人手が増えていけばホテルのウェルカムスイーツの販路も拡大していきたい。このまま順調にいけば工賃アップにつなげることが出来る。利用者や職員からは厨房や新しい機器での作業がとても効率よくできていると喜びの声が上がっている。積極的に利用者も増やしていきたいと考えている。

# 障害者就労施設の工賃向上に資する生産設備の導入モデル事業取組事例（西宮市）

## 実施事業所

アイクロス西宮(就労継続支援B型)／一般社団法人i-crosso

## 導入した設備

珈琲焙煎機

## 事業の応募のきっかけ(事業所が抱える課題)

アイクロス西宮では、珈琲豆の卸売り事業を行っており、その内珈琲豆の選別作業、焙煎作業、パッキング作業を利用者に作業として取り組んで頂いている。そこで、多くの利用者様に焙煎作業に取り組んで頂くため、また焙煎量を増やすことで工賃売り上げの向上を図ることを目的とし、新たに焙煎機を導入したいと考えていた。

現在、アイクロス西宮には焙煎機が1台あるが、課題としては2つ。

課題① この焙煎機は豆のハゼ方や庫内の温度管理、焙煎時間の管理、豆の焼け具合などを感覚で理解・把握する必要がある。もちろん温度計やタイマーを使い目安となる基準を設けて、できる限り作業の可視化を行って、作業の見え化に取り組んでいるが、それでも焙煎作業のできる利用者様はかなり限られていた。

課題② 一度に焙煎できる量が少なく、珈琲豆の発注は頂いているものの、焙煎量が追いつかずお断りすることも出てきていた。



## 事業内容

2つの課題を解決すべく、今回新たに焙煎機を導入。新たに導入したい焙煎機の特徴は下記のとおり。

①焙煎のプログラム化が可能。電気焙煎機となるため、焙煎をプログラムし、珈琲豆を焙煎機に投入しタッチパネルで焙煎プログラムをタッチするだけで焙煎開始～完了まで自動で行うことができる。

②現在使っている焙煎機はガスも電気も使用し、ガス効率や電気効率も良くないが、今回導入したい電気焙煎機は電気のみとなり、電気効率も良くなり、火を使わずに作業することができる。

③焙煎できる量が現在の焙煎機械では250gだが、導入したい電気焙煎機では1kgまで焙煎できるため、単純に4倍の効率で焙煎できるようになる。

④焙煎機が安全なため、ほぼこのスペースにも設置も可能。焙煎中の確認とお客様へのアピールを兼ねてライトを設置したいと考えている。



## 生産設備導入後の効果

導入された焙煎機は、焙煎工程の自動化プログラムが搭載されており、安定した品質と効率的な生産体制の構築が可能となりました。これにより、これまで手作業と外部委託に頼っていた焙煎工程が内製化され、月間焙煎量は約20kgから80kgへと約4倍に増加しました。また、少しずつ焙煎に関わるご利用者も増えてきています。下記にご利用者2名の声を記載致します。

①新しい焙煎機が導入されてから、作業がより安定してできるようになりました。最初はボタン操作などが不安でしたが、スタッフに教わりながら少しずつ慣れてきて、今では「自分の手でおいしいコーヒーを作っている」という実感があります。納品先のカフェの方が「おいしい」と言ってくれたと聞いたときは本当に嬉しかったです。毎日の仕事にやりがいを感じています。

②私は細かい作業が苦手だったのですが、焙煎機の操作は手順が決まっていて、繰り返すうちに覚えることができました。温度や時間を確認する作業も任せられるようになって、自分にできることが増えてきた実感があります。コーヒーの香りが広がる作業場も心地よく、作業を通じて少しずつ自信を持てるようになりました。これからももっと上手に焙煎できるように頑張りたいです。

# 障害者就労施設の工賃向上に資する生産設備の導入モデル事業取組事例（福山市）

## 実施事業所

遠行工房（就労継続支援B型）  
／特定非営利活動法人玄森会

## 導入した設備

ラジコン式草刈り機、樹木粉碎機

## 事業の応募のきっかけ(事業所が抱える課題)

本事業の実施を決めた背景として、次の課題がありました。

- ・農福連携を進める上で、利用者の高齢化により生産力が低下し、繁忙期の依頼主からの多様な要望に十分に答えられていない。
- ・事業の副産物である剪定伐採屑について、本来有効活用すべき資源であるところ、費用と時間を投じて廃棄しており、無駄なコストが生じている。

## 事業内容

### ○ラジコン式草刈り機の導入

従来使用していた、人の操作する刈払機や自走式草刈り機と比べて、作業能力が高く、生産性が向上した。また、作業の仕上がりの安定化にも寄与している。

（性能の比較）

刈払機 350㎡/h

自走式草刈り機 728㎡/h

ラジコン式草刈り機 1,000㎡/h

### ○樹木粉碎機の導入

剪定・伐採作業において手作業で枝葉の処理を行っていたが、機械化されたことにより、大幅に作業時間が短縮されるとともに、粉碎作業費として追加の収益が得られるようになった。（処分費の2割程度）

ラジコン式草刈り機



樹木粉碎機

## 生産設備導入後の効果

### 1 売上の増加

- ラジコン式草刈り機及び樹木粉碎機の導入で作業能力が向上したため、依頼主からの要望に応えられるようになり、受注件数とともに売上が増加した。

### 2 利用者の負担軽減と安全性の向上（利用者からの声）

- 作業の機械化が進んだことで、身体的・時間的負担が軽減され、利用者がより集中して必要な作業に取り組めるようになった。
- 急斜面や足場の悪い場所などの草刈りをラジコン式草刈り機が行うようになったので、転倒などによるけがのリスクが減り、安心して作業に取り組めるようになった。

